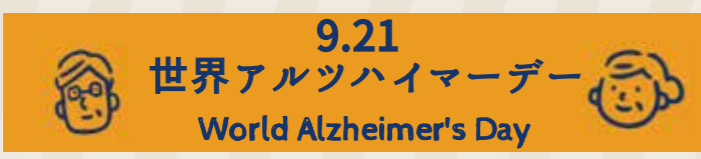




「世界アルツハイマーデー」啓発活動をしました！



世界アルツハイマーデーにちなんで、9月21日、虹では職員全員オレンジのマスクを着用して皆さまをお迎えしました。レクリエーションの時間には認知症の理解を深めていただくお話をしたり、通所デイケアをご利用者には連絡帳に作成したチラシを挟ませていただきました。職員一同、より一層認知症ケアの向上に努めていこうと意識を高める機会になりました。



「世界アルツハイマーデー」とは…

1994年「国際アルツハイマー協会」が、毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定。この日を中心にポスターやリーフレットを作成し、宣伝活動や記念講演会などを開催し認知症の啓発活動を世界各国で行っています。

どうしてオレンジなの？

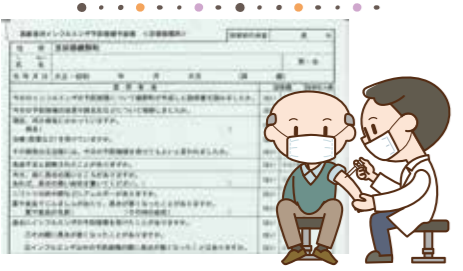
認知症の普及啓発のシンボルカラーはオレンジです。温かさを感じさせるこの色は、「手助けをします」という意味を持つとも言われています。また、認知症専門医をオレンジドクター、認知症高齢者の施策をオレンジプランと言い、認知症サポーターは目印としてオレンジリングを着けています。



入所も通所もレクもリハビリもお掃除も… みんなでオレンジマスク

お知らせ

インフルエンザ予防接種について



虹では、今年もインフルエンザの予防接種を行います。ご希望の方は改めてご案内いたしますので、お申込み下さい。なお、ご不明な点等ございましたら、下記担当までご連絡下さい。

担当：虹 通所リハビリ (工藤・宮本) TEL：0868-54-3250

編集後記

最近朝晩涼しくなり、すっかり秋らしくなりました。秋になるとやってくるのが、食欲の秋！夏にバテた体の体調を戻すため、涼しくなった秋には、自然と食欲が増す様になっているそうです。秋はおいしい物がたくさんあるので、食べすぎには注意したいですが・・・しっかり栄養を蓄えて、寒い冬に備えましょう。(虹 相談室 小林 彩)



県北初の『プラチナくるみん』認定

共愛会は県北初、県内6番目の「プラチナくるみん」に認定されました！



共愛会では、平成31年4月に「くるみんマーク」を取得し、出産・子育てによる退職者もなく安心して仕事が続けられる環境を整えてきました。そして、増加傾向にあった時間外労働の削減を数値目標に掲げ、より高い水準である「プラチナくるみん」マークの取得に取り組みました。その結果、県北では初の認定を受け、6月28日、山田晴基法人事務局長が岡山労働局で行われた「認定通知書交付式」に出席しました。私たち職員も、子育てがしやすい職場にとっても満足しています。



岡山労働局長(左)と山田局長(右) 1

プラチナくるみんとは…

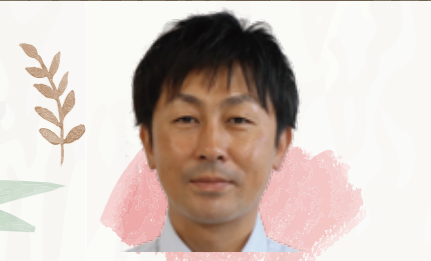
「子育てサポート企業」としてより高い水準の取組を厚生労働省から評価された証です。

プリズム 2021 秋号

発行：令和3年 10月 1日
一般財団法人共愛会
老人保健施設 虹
岡山県苫田郡鏡野町古川1406
TEL 0868-54-3250
FAX 0868-54-4533

要介護認定の仕組みについて

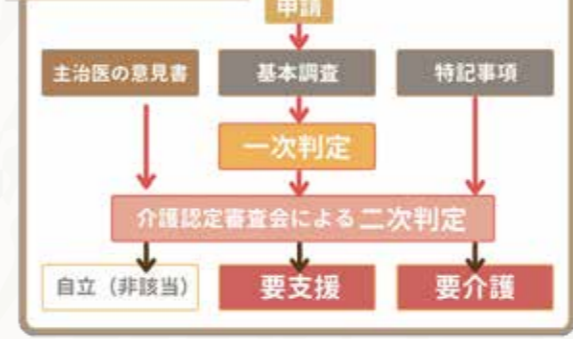
～意外と知らない介護度の決め方～



一般財団法人 共愛会 介護事業所 事務長 植木 潤

介護サービスを受けるための基準になる「介護度」。介護度はどのように決まるのでしょうか。知っているようで意外と知らない介護度の決定プロセスについてお伝えします。

要介護認定の流れ



要介護認定は、コンピューターによる「一次判定」と、介護認定審査会の審査による「二次判定」により認定が行われます。(図1参照)

「一次判定」は、市町村の認定審査員による心身の状況調査(認定調査)と主治医の意見書をもとに、コンピューターで判定します。判定は、下記の図2の通り介護の手間を5つに分類し、それぞれの分類を時間に換算します(要介護認定等基準時間(A))。そして、この「要介護認定等基準時間」に認知症である申請者に加算される「認知症加算(B)」を加えた判定時間(C)から評価されます。(図3参照)

一次判定は認定調査と主治医意見書の内容をコンピューターへ入力し、機械的に判定されます。認定調査員の裁量や各市町村の定めるルールなどに影響を受けず、全国一律に客観的な評価がなされるというメリットがある反面、申請者個人が抱える介護状態(介護の手間)を反映させることが困難である部分がデメリットとなります。

分類	内容	換算時間	判定時間 C	一次判定
① 直接生活介助	入浴、排せつ、食事などの介護	a 分	25分未満	非該当
② 間接生活介助	洗濯、掃除などの家事援助	b 分	25分以上32分未満	要支援1
③ 認知症の周辺症状関連行為	興奮、不穏、徘徊、暴力行為など	c 分	32分以上50分未満	要支援2又は要介護1
④ 機能訓練関連行為	歩行訓練、日常生活訓練などの機能訓練	d 分	50分以上70分未満	要介護2
⑤ 医療関連行為	点滴管理、酸素療法、褥瘡の処置などの診療補助	e 分	70分以上90分未満	要介護3
			90分以上110分未満	要介護4
			110分以上	要介護5
合計 (a+b+c+d+e)		A 分		

要介護認定等基準時間 (A) + 認知症加算 (B) = 判定時間 (C)

*これらの時間は、一次判定に使用する「ものさし」としての役割であり、実際に自宅や介護施設などで行われている介護時間とは異なります。

「二次判定」は、一次判定の結果を保健・医療・福祉の専門家や住民代表者による「介護認定審査会」で審査が行われます。個々が抱える介護の状態が、認定調査員が記載する特記事項や主治医の意見書の記載内容から、介護の手間の多寡が具体的に認められる場合は、一次判定での要介護度の変更が可能となります。一次判定では要介護2であったものが、二次判定で要介護3になることもあります。この場合は、個々の抱える介護の状態が一次判定よりも重大であると判断されたケースになります。反対に、一次判定では要介護3であったものが二次判定で要介護2になることもあります。こちらは、個々に抱える介護の状態がコンピューターで算出した結果よりも軽度という判断になります。

介護保険の目的は「加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となっても、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な介護サービスに係る給付を行う」となっています。そのためには「介護度」といった指標だけにとらわれた「自立支援」では目的を果たせません。私たちが要介護者の抱える「生きづらさ」や根底にある「孤独」と向き合わない限り、その人の暮らしはさほど変わらないのではないのでしょうか。

共愛会では、ご利用者の背景やニーズと向き合った自立支援ができるサービス提供を心掛け、より皆さまに信頼される介護事業所として尽力していく所存です。今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



たなばた会

七夕会の何日も前から短冊にお願い事を書きました。「家族みんな無事に過ごせますように」「みんながコロナに負けて健康に過ごせますように」などとても心のごもったお願い事が勢ぞろいしました。レクリエーションに七夕の歌を合唱し、昼食の素麺と稲荷寿司を頂き、笑顔と会話で賑やかな会になりました。(入所介護 江部 愛美)



長寿を祝う会



通所では懐かしいお手玉・けん玉・だるま落としをしました。皆でゲームをするのは久しぶりで楽しんでもらえました。入所ではご長寿上位3名には手作り金・銀・銅メダルを贈呈し、皆さまには手形を作成しました。手形はご家族にお渡し、とても喜んでいただきました。(入所介護 豊久 裕子)



ミソお涼み会

お涼み会にちなんだ行事を行いました。通所では、職員によるスイカ割りとヨーヨーを使ったくじ引きをしました。入所ではご利用者が輪になって魚釣りゲームを行いました。くじ引きの景品を渡し「何かな。」と楽しまれていたり、魚釣りでは「釣れた。いっぺんに釣れたで。」と喜ばれていました。来年も皆さんと楽しい行事が出来たらいいですね。(通所リハビリ 看護 宮本 光絵)



秋と言えば、紅葉・運動会・読書・食欲・・・
スタッフに秋の思い出を聞いてみました。

コラム

- ・秋になると、食卓にはきのこご飯、秋刀魚に大根おろしを食べていました。あの頃が懐かしいです。
- ・小さい頃、七輪で松茸を焼き、栗拾いに行っていました。
- ・秋になると、秋桜がこちらこちらで咲きますね。私の誕生花です
- ・趣味の山登りで、お城と紅葉！苗木城（岐阜県）最高！
- ・子供が小さい頃、子供3人を連れ（1人はベビーカーで）芋ほりに行きました。

(入所介護 神谷 ゆかり)



虹 入所のご紹介

入所は、長期入所、中期入所、ショートステイ（短期入所）の在宅支援など、多岐にわたるサービスがあります。他職種が連携し、ご利用者が安心して生活していただけるケアの提供をしています。(入所主任 三頭 功太郎)

何か困った事がありましたら
お気軽にお声かけください！

元気にして
ますよ

桜がきれい
ですね...

コロナ禍の中、タブレットを使用してのオンライン面会をしています。ご家族の顔が見えて満面の笑みがこぼれます。



緊急事態宣言等が解除された短期間に外出の許可がありました。少人数ずつで桜を見に出かけました。深呼吸されるお姿が印象的でした。

コロナ禍でも楽しんでいただけるようレクリエーションの時間に、美空ひばりのDVD鑑賞会をしました。懐かしい映像と音楽を楽しんで頂けました。



美味しいよ！

気持ちの良い生活の
フォローをします！



やっぱり
美空ひばり
はいいねえ

10時にはティータイム、15時にはおやつを提供しています。ご利用者に合わせた形態でスタッフが対応しています。



小規模多機能型居宅介護 気楽亭より



9月23日、テレビを使用したご利用者向けの認知症勉強会を開催し、症状や関わり方について学びました。とても真剣に傾聴して下さいました。また、職員も改めて認知症について学びました。今まで以上に身を引き締めて、ご利用者に『気楽亭に来てよかった』と語っていただけるよう努めていきたいです。(管理者 稲岡 浩明)

訪問看護ステーション あおぞらより



訪問看護ステーションあおぞらは、現在看護師5名と事務員1名で日々活動しています。在宅医をはじめケアマネジャーやサービス事業所の方々と連携をとり、ご利用者に安心・安全・安楽なケアを提供できるよう心がけています。



新型コロナウイルス感染症はまだ終息が見えず窮屈で不安な日々が続いています。あおぞらではご利用者が安心してサービスを受けることができるよう訪問時には、マスクとゴーグルを着用し、アルコール消毒や換気を行うなど、感染対策を徹底し訪問しています。コロナ禍であっても訪問看護を必要とされている皆さまのお役に立てるよう日々努力してまいります。(あおぞら スタッフ一同)

